

【オリコンサルグローバル ベトナムの空港インフラ設計業務を受注】

ベトナムの空港インフラ設計業務を受注 オリコンサルグローバル オリエンタルコンサルタンツグローバル（OCG）は、ベトナム政府が国家重要プロジェクトに位置付けている「Gia Binh International Airport」の空港インフラ設計業務契約を受注した。	「report」の空港インフラ設計業務契約を受注した。Transport Engineering Design Inc社（TEDI）などの共同受注となる。OCGは共同企業体のリーダーとして滑走路や誘導路、エプロン、航空灯火システム（AGL）、ILS/DMEなどの航空保安施設、空港内道路、橋梁・トンネル、給排水、電力、通信その他の空港基幹インフラの設計に携わる。BIMを活用した設計統合とインターフェースマネジメントを通じて、複数の施設・工種を横断した高品質かつ効率的な設計を推進する。	空港はハノイ中心部から北東方向に約40キロに位置し、国際民間航空機関（ICAO）の「Code 4F規格」に対応する計画だ。2030年までに年間3000万人の旅客と160万トンの貨物を取り扱う能力を整備し、50年には年間5000万人の旅客と250万トンの貨物を取り扱う計画となっている。さらに長期的には年間1億人規模の旅客需要への対応が構想されている。	近年、ベトナムでは、従来のODA（政府開発援助）によるインフラ整備に加えて、国内民間資本を活用した大規模インフラ開発が活発化している。こうした背景の中で同社は「今回の契約は、ベトナムでの非ODAの大型空港案件への本格展開を象徴する重要な受注となる」と話す。
--	--	--	---